

地域経済動向調査報告

平成 29 年度 第 3 四半期 (10~12 月)

調査対象期間 平成 29 年 10 月~平成 29 年 12 月

調査期間 平成 30 年 1 月 22 日~平成 30 年 2 月 16 日

調査方法 郵送により、別紙調査票にて実施

調査項目 DI 値 (景気判断指数) 使用

調査対象数 100 事業所

抽出方法 当所会員名簿から、業種のバランスを考慮し抽出

回答数及び回答率

業種	配布数	回答数	回答率	回答構成比
全業種	100	56	56.0%	100.0%
製造・鉱業	23	14	61%	25%
建設	21	16	76%	29%
運送	7	4	57%	7%
卸・小売	31	15	48%	27%
飲食、サービス	18	7	39%	13%

※平成 30 年 2 月 16 日現在

1. 業況感

	国	県	江津市
10月	景気は、緩やかな回復基調が続いている。	個人消費は緩やかに持ち直している	売上や業況についてほぼ横ばいの状況。
11月	景気は、緩やかな回復基調が続いている。	ほか、生産活動も回復しつつある。	一部好調な業種を除き、依然厳しい状態が続いている。
12月	景気は、緩やかな回復基調が続いている。	雇用情勢も改善しており、人手不足感が広がっている。	

※内閣府「月例経済報告」、財務相松江財務事務所「島根県の経済情勢」参照

2. 業況

江津市の景気は、電子部品製造など、一部製造業は好調である。

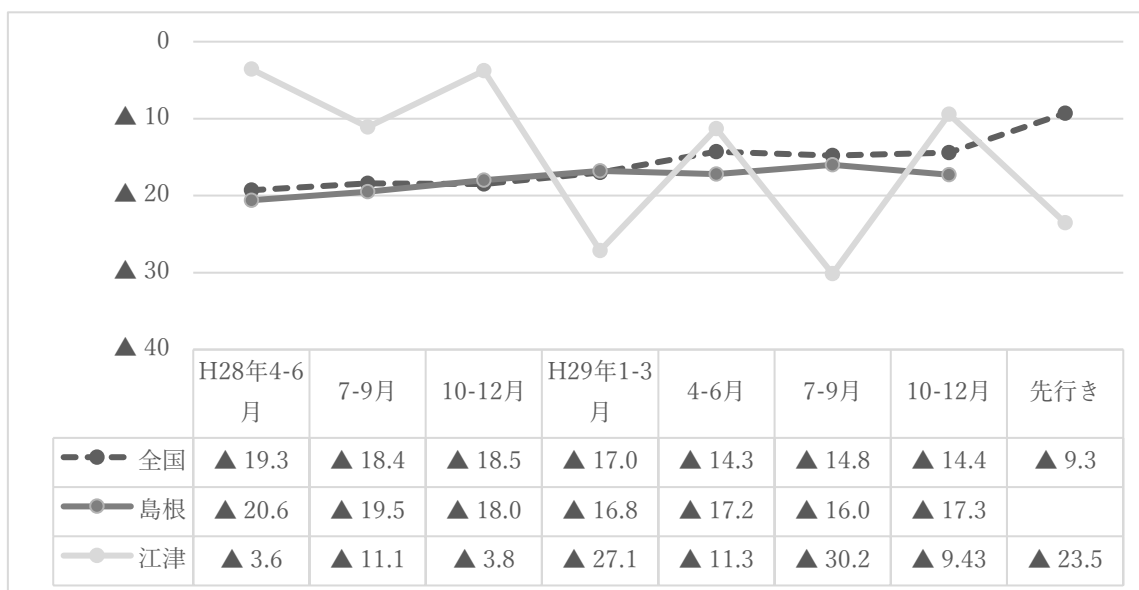
前回調査より下げ幅は緩和したものの、依然卸小売業は業者間競争の激化や高齢化による顧客減、建設業は引き続き公共工事減少に悩まされている。飲食サービス業においても前年比を比較すると前年調査 25→本年調査▲14 とマイナス幅の広がりが見られる。本年は悪天候が続き、客足の鈍化が推測される。

全業種を通じた今後の見通しは、前回調査▲3→今回調査▲24 と厳しい状況が続く見込み。

(1) 業種別の業況 D.I. (各期間比較)

	当期間と前の 3カ月間との比較	当期間と前年 同期間との比較	当期間と比較した向 こう3カ月間の先行 き見通し
全 体	▲ 9	▲ 27	▲ 24
製 造 業	7	▲ 7	7
建 設 業	▲ 29	▲ 44	▲ 31
運 送 業	0	▲ 25	▲ 50
卸 小 売 業	0	▲ 36	▲ 21
飲食・サービス業	▲ 33	▲ 14	▲ 67

(2) 業況 D.I.の推移 (前期比)

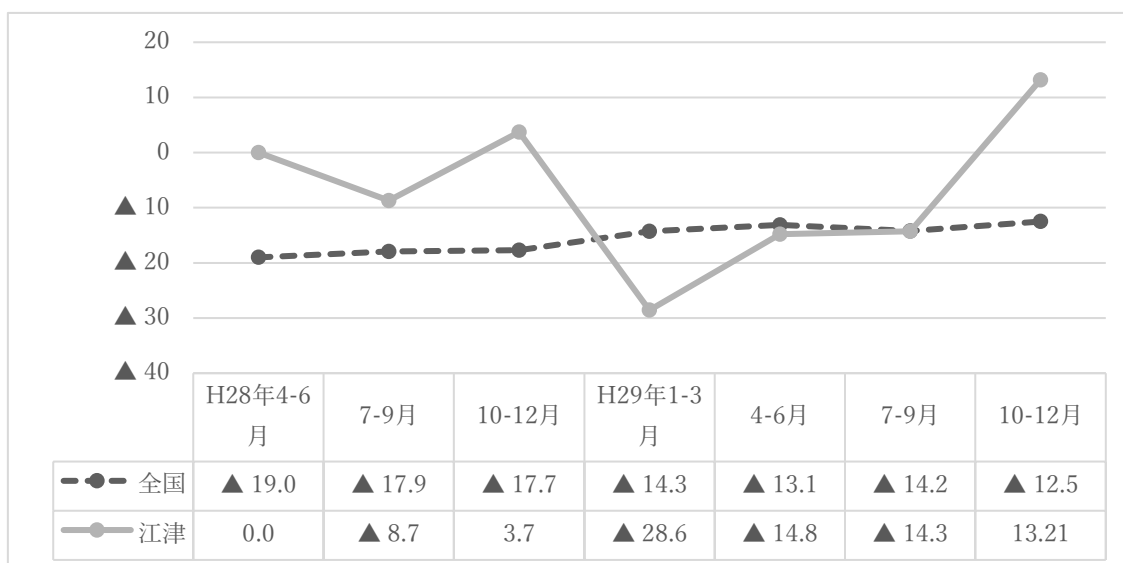


3. 売上

(1) 売上 D.I.の推移 (前期比)

売上は緩やかに持ち直しがみられ、前回の第2四半期と比較したDI値が13と製造業を中心に売上高の向上がみられる。

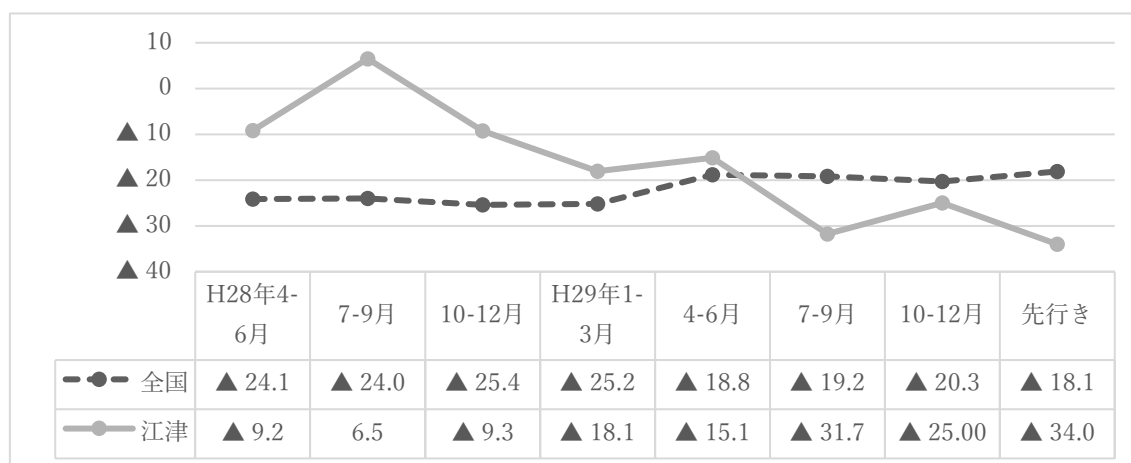
しかし、今後3カ月間の見通しについては前回調査▲5→今回調査▲34と年度末という時節柄もあってか飲食サービス業(▲82)を中心に厳しい見通し。



4. 採算

(1) 採算 D.I.の推移 (前年同期比)

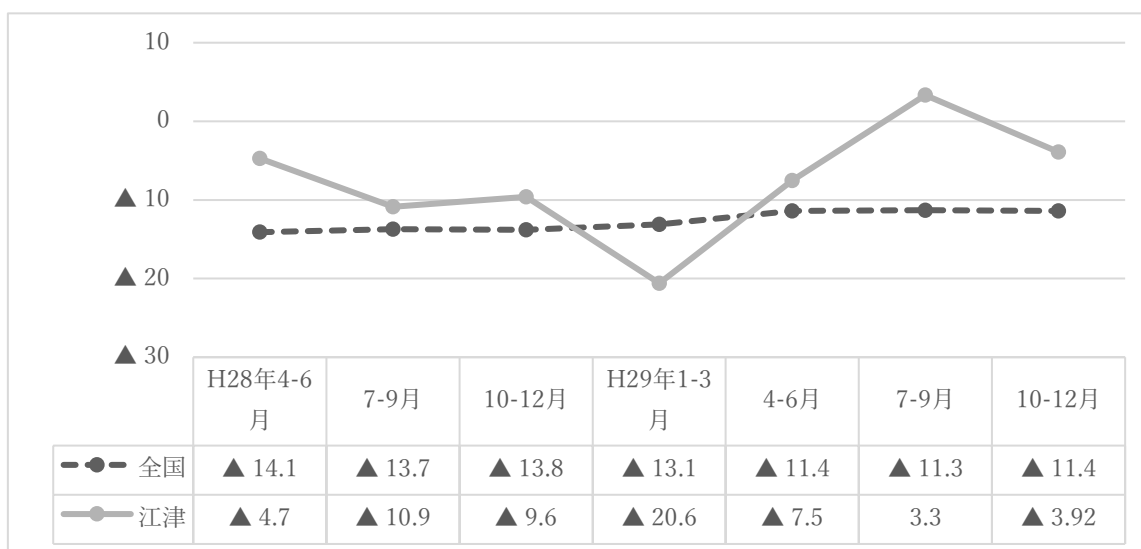
採算は緩和している。特に製造業・建設業・運送業においてはマイナス幅が縮小している。



5. 資金繰り D.I

(1) 資金繰り D.I.の推移 (前期比)

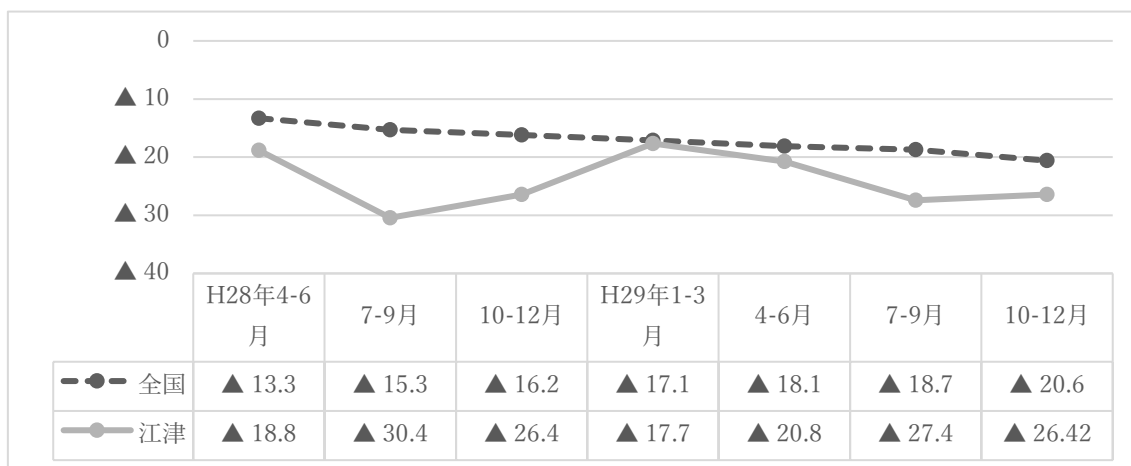
資金繰りについては全業種を通し、緩やかに回復基調。卸小売業は前回調査▲20→今回調査▲7 と資金繰り難易度が緩和している様子。



6. 雇用 D.I.

(1) 雇用 D.I.の推移

引き続き人手不足が続いている。特にマイナス値が大きいのは鉱業を中心とした製造業である。全国的に人手不足から営業時間の見直しや深夜帯に外国人労働者を確保する等、人手不足感が広がっているとともに対応が迫られている。



7. 在庫 D.I.

(1) 在庫 D.I.の推移

